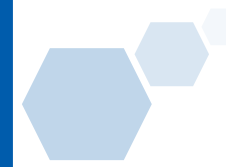


# ICANN66 Montréal

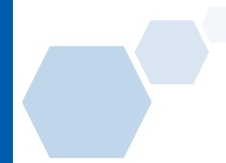
## New gTLD Subsequent Procedures PDP



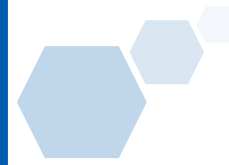
2019年12月13日



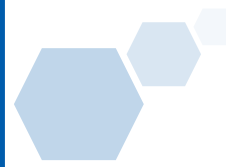
- ICANN66について pg 4
- 新gTLD次回申請募集のポリシー策定について pg 6
- 作業トラック5の最終報告書 pg 9
- 全体ワーキンググループ pg 16



- 新gTLDポリシー策定の経緯と現状についての共有
- トップレベルでの地理的名称に関するポリシー策定を担当する作業トラック5の最終報告書の共有
- 今後のタイムラインについての理解



# 第66回ICANNモントリオールミーティングについて



第66回ICANNモントリオールミーティングは、今年11月2日～7日まで開催された。ICANNの年次会合であり、ハイレベルミーティングとして多くの参加者がいた。

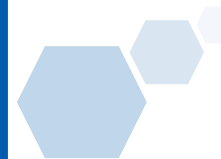
主なセッションは以下の課題に注目していた。

- WHOSのユニファイドアクセスモデル
- DNS悪用
- ICANNのマルチステークホルダーモデルの将来

GNSOのポリシー策定中の課題：

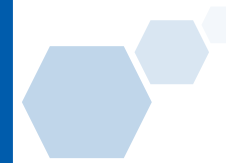
- WHOISの将来・ePDPの議論の進捗
- 新gTLDのポリシー策定の続き
- RPMポリシー策定のサブグループの作業進捗



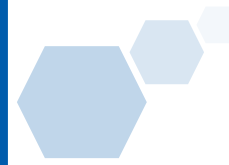


# 新gTLD次回申請募集のポリシー策定について

---

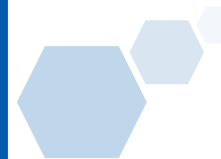


- 2012年にICANNが新gTLDプログラムを開始して、インターネット上に1,200件以上のTLD（トップレベルドメイン）が増えた。
- New gTLD Subsequent Procedures Policy Development Working Group（次回新gTLD申請受付ポリシー策定のワーキンググループ）が2015年Q4より開始された。
- 2012年の新gTLDプログラム（ファーストラウンド）に使用されたポリシーをレビューし、改善する。以降の申請募集機会の基となるポリシーを策定する。
- ワーキンググループの実績
  - 5つの作業トラック（Work Track・WT）における協議
  - Community Commentを2回（CC1とCC2）
  - 中間報告書（Initial Report）のパブリックコメント
  - 補足報告書（Supplementary Report）のパブリックコメント



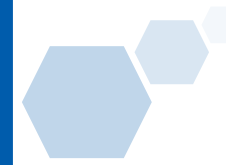
- トップレベルでの地理的名称に関するポリシーの最終報告書は作業トラック5から全体のワーキンググループに上がった。
- ワーキンググループは最終報告書に反映されるレコメンデーションを検討中である。
- 検討中の課題に関する議論は要約文書にまとまってきており、これを最終報告書のドラフトとなる。





## 作業トラック5の最終報告書の内容

---



作業トラック5とは：New gTLD Subsequent Procedures Policy Development Process Working Groupのサブグループであり、ポリシー策定をICANN66で仕上げた。

タスク：2012年に行われた新gTLDプログラムから得た経験に基づいて2007年に採択された新gTLDに関するGNSOポリシーをレビューし、修正・改善する。

検討内容：トップレベルでの地理的名称扱いに関するポリシーに対して、必要に応じる修正・改善を行う。

## 議論範囲：トップレベルでの地理的名称扱いに限った議論

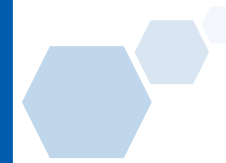
- ASCIIの文字・文字の組み合わせである2文字（e.g. jp cn kr）
- 国と地域名：ISO（International Organization for Standardization・国際標準化機構）のリストである3166-1（短文式（e.g. China Japan）と長文式（e.g. People's Republic of China）の国・地域名）または新gTLD申請ガイドブック2.2.1.4.1のその他のカテゴリ
- 首都名・都市名・地方名（県や州等）：ISO-3166-1の首都名
- ユネスコがまとめた“Composition of macro geographical (continental) regions, geographical sub-regions, and selected economic and other groupings”に表示される地域名
- その他の地理的特徴（川、山、谷、湖等）または、文化上地理的な重大の用語

## 2007年当時のGNSOポリシーの示唆

- 2007年のGNSOポリシーは地理的名称扱いに関する二つのレコメンデーションがあった。
    - レコメンデーション5：申請対象文字列は、予約語でなければならない。⇒実際、予約語ワーキンググループの最終報告書は、地理的名称を予約すべきではないとした。
    - レコメンデーション20：申請文字列に対してコミュニティの大部分から明示的または暗示的な反対があると専門家パネルによる判断があった場合、申請文字列は拒否されるものとする。
- または、トップレベルの2文字列は引き続き国別TLD専用に予約されるという予約語ワーキンググループの最終報告書のレコメンデーションもあった。

## 2012年の申請ガイドブックの採択内容

- ICANN理事会はccTLDのccNSO（国コードドメイン名支持組織）と政府諮問委員会（GAC）からのインプットによってGNSOポリシーと異なる判断を採択した。
- 2012年の申請ガイドブックは、地理的名称扱いをセクション2.2.1.3.2と2.2.1.4.1にて明確にする。申請文字列は以下のものではない。
  - ✓ 2文字列
  - ✓ ISO 3166-1 Alpha-3のコード
  - ✓ ISO 3166-1の国と地域名（短文式と長文式）の各言語における翻訳
  - ✓ ISO 3166-1によって特別に予約されたコードとの短文式かつ長文式の関連語
  - ✓ 国名の分離可能なコンポーネントのリストに指定されたものまたはその翻訳
  - ✓ 上記の名前の並べ替え（スペースの排除または句読点を付けた形をいう）または転位（配置の変更をいう）の形式
  - ✓ 国がよく知られる名（政府間組また条約によって認められるもの）



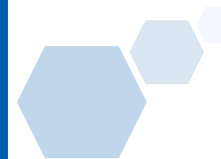
## 2012年の申請ガイドブックの採択内容②

- 2012年の申請ガイドブックは、地理的名称扱いをセクション2.2.1.3.2と2.2.1.4.1にて明確にする。以下のカテゴリに沿う申請文字列は該当政府または公共企業体からのサポートもしくはは非反対の書類をもらう必要がある。
  - ✓ ISO-3166-1の首都名またはその首都名を表す言葉
  - ✓ 文字列を都市名として使用する申請
  - ✓ ISO 3166-2に指定される地方名（県や州等）と完全一致する文字列  
国名分離可能なコンポーネントのリストに指定されたものまたはその翻訳
  - ✓ ユネスコがまとめた“Composition of macro geographical (continental) regions, geographical sub-regions, and selected economic and other groupings”に表示される地域名の文字列

## 作業トラック5の最終報告書に報告したレコメンデーション

結論：2年間の議論を終えて簡潔なレコメンデーションとしては以下である。

- 最終報告書の主なレコメンデーションは、2007年のGNSOポリシーを2012年新gTLDプログラムの申請ガイドブックの規定を維持するようにポリシーを採択すべきと主張する。つまり、以前のポリシーは、2文字予約以外の地理的名称の予約とルールがなかったところ、2012年の申請ガイドブックの通りにポリシーをアップデートするという考えである。
- その他に2点の細かい明確化のレコメンデーションがあった。
  - ✓ 予約語の並べ替えと転位は国名と地域名の長文式、短文式、特別に予約されたコードとの短文式かつ長文式の関連語または分離可能なコンポーネントに限る。ISO-3166-1のAlpha-3のコードの並べ替えと転位は申請可能である。
  - ✓ Composition of macro geographical (continental) regions, geographical sub-regions, and selected economic and other groupingsというリストの正確な名前は、“Standard country or area codes for statistical use (M49)”である。



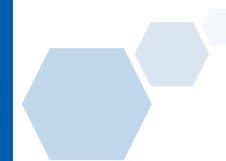
# 新gTLD次回申請受付のポリシー策定の全体ワーキンググループ



現在まで新gTLD次回申請受付のポリシー策定に関するパブリックコメントは以下の機会で開催された。

- Community Comment 1
- Community Comment 2
- 中間報告書
- 補足報告書

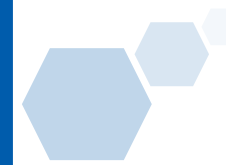
ただし、多くの議論によって、最終報告書の前に再度パブリックコメントを行う課題があると考えられる。



ワーキンググループは各課題を議論した結果、概略をまとめており、再度パブリックコメントすると考えてる。

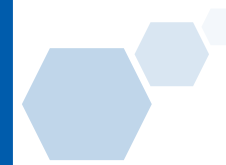
### 全体的な課題

課題	パブリックコメントの可能性
2.2.1 Continuing Subsequent Procedures	なし
2.2.2 Predictability	高
2.2.3 Applications Assessed in Rounds	中
2.2.4 Different TLD Types	なし
2.2.5 Application Submission Limits	なし
2.2.6 Accreditation Programs (RSP Pre-Approval)	中



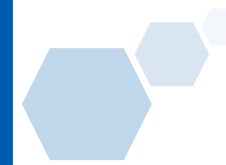
基礎的な課題・ローンチ前の課題

課題	パブリックコメントの可能性
2.3.1 Competition, Consumer Trust and Consumer Choice	なし
2.3.2 Global Public Interest	中
2.3.3 Applicant Freedom of Expression	なし
2.3.4 Universal Acceptance	なし
2.4.1 Applicant Guidebook	なし
2.4.2 Communications	なし
2.4.3 Systems	なし



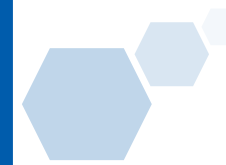
## 申請提出・申請処理

課題	パブリックコメントの可能性
2.5.1 Application Fees	なし
2.5.2 Variable Fees	なし
2.5.3 Applicant Submission Period	なし
2.5.4 Applicant Support	なし
2.5.5 Terms & Conditions	なし
2.6.1 Application Queuing	なし
2.4 Application Change Requests	中



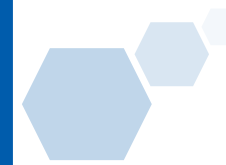
## 申請評価・申請条件

課題	パブリックコメントの可能性
2.7.1 Reserved Names	なし
2.7.2 Registrant Protections	中
2.7.3 Closed Generics	中
2.7.4 String Similarity	なし
2.7.5 IDNs	なし
2.7.6 Security and Stability	なし
2.7.7 Applicant Reviews: Technical/Operational, Financial and Registry Services	なし
2.3 Role of Application Comment	なし
2.7.8 Name Collisions	なし



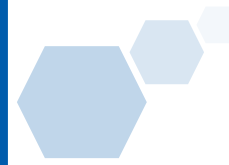
## 異議申立・文字列対立解決

課題	パブリックコメントの可能性
2.8.1 Objections	不明
2.8.2 Accountability Mechanisms	高
2.9.1 Community Applications	なし
2.1 Auctions: Mechanisms of Last Resort	中
2.2 Private Resolution of Contention Sets (including Private Auctions)	不明



## 契約・委任前と委任後

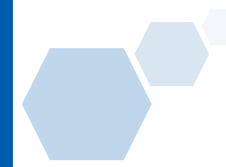
課題	パブリックコメントの可能性
2.10.1 Base Registry Agreement	なし
2.10.2 Registrar Non-Discrimination / Registry/Registrar Standardization	なし
2.7.3 Registrar Support for New gTLDs	なし
2.7.4 Registry System Testing	不明
2.7.5 TLD Rollout	不明
2.7.6 Contractual Compliance	不明



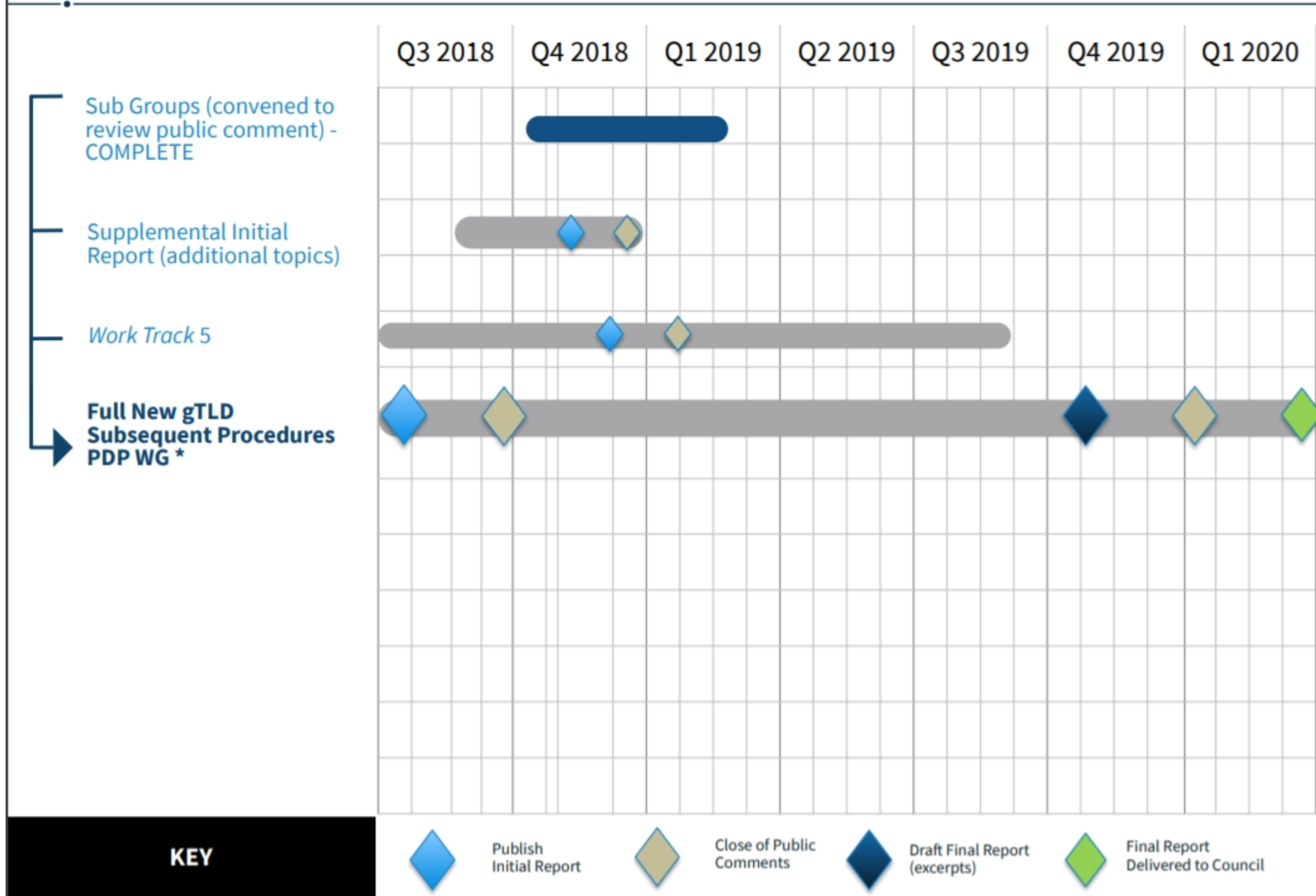
## ICANN66での活動

- ICANNでは、再度パブリックコメントとなる対象の課題が共有された。また、分析を進めるために、最終報告書のレコメンデーションの基礎となる協議を以下のテーマに関してサブグループに分かれて行った。
  1. Predictability Framework
  2. String Contention Mechanism of Last Resort
  3. Limited Appeals Mechanism
- ICANN66以降は、各課題の概要をまとめるための協議を行い続けてきている。2019年内の目標は、上記の課題に関するレコメンデーションに至ることである。

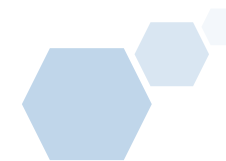




# SubPro Timeline



出典: ICANN



当資料に関するお問い合わせは、下記までお願い申し上げます。

**GMO** Brights Consulting

GMOブライツコンサルティング株式会社

**Michael Flemming**

e-mail : [consul@brights.jp](mailto:consul@brights.jp)

TEL : 03-5784-1069

Fax : 03-3462-5040

- 当資料の著作権は、GMOブライツコンサルティング株式会社に帰属しています。
- 著作権者の承諾なしにコンテンツを複製、他の電子メディアや印刷物などに再利用(転用)することを禁じます。
- その他の会社名、商品名、サービス名、ロゴは、それぞれを表示するためだけに引用されており、それぞれ各社の登録商標あるいは出願中の商標もしくは商号である場合があります。